

授業科目名	プロポーション美学	科目分類	演習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		45時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	前期
教員	山田奈生子	授業担当・外部講師	山田奈生子	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

モデル、俳優などの表現者の仕事を理解し、美容、ヘアメイク、外見作りの一般常識や理論を学ぶ。さらに、なりたいイメージを表現するために、内面と外見の充実、感性を磨く術、イメージアップ・セルフケアなどの日々の取り組みを理解し、後期1回の撮影を通じてポートフォリオ作成に向けて尽力する。

授業方法・形態

講師による授業各項目の説明→展示→実習→評価

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション	4月7日
2	オリエンテーション：授業受け方：授業受け方、モデル心構え	4月14日
3	スキンケア：肌質とデイリーケア	4月21,28日
4	顔のゴールデンプロポーション：似合うメイクバランス	5月12日
5	ヘア1:顔型とヘアバランス；顔型とヘアバランス	5月19日
6	ヘア2:髪質とヘアケア；髪質とヘアケア	5月26日
7	ナチュラルメイク実習；ベースメイク、空間処理	6月2日
8	ナチュラルメイク実習；アイブロウメイク	6月9日
9	ナチュラルメイク実習：アイメイク	6月16日
10	ナチュラルメイク実習；リップ、チーク	6月23日
11	似合う色を知る；ベストカラー診断	6月30日
12	自己の印象を知る；骨格診断	7月7日
13	前期終了試験	7月14日
14	撮影実習に向けて	9月1日
15	撮影実習	9月8,22日
16	後期終了試験	9月29日
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

出席率60%未満は不可。毎授業の課題と取り組みの評価、課題提出物、期末試験、すべて100点満点で評価し、成績は平均点で算出する。

教科書・参考書・資料・文献

「Gバランス美人メイクの基本」西島 悅

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
日本美容専門学校卒業 株式会社大森メソッドにてイメージコンサルタント養成講座を20年担当	○

授業科目名	Excel & Word講座	科目分類	演習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		50時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	後期
教員	鶴本 望	授業担当・外部講師	鶴本 望	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

Windowsパソコンの操作方法と、就職後に使用することの多いOfficeソフト（Word・Excel）の使い方を習得する。

1. Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使用したタイピング技術を身に付ける。
2. Wordによる基本的なビジネス文書やチラシの作成、校正を行えるようにする。
3. Excelを使用した表やグラフの作成、関数の使用方法を身に付ける。

授業方法・形態

一人一台WindowsPCを使用し、各回ごとに課題を出題。

作成手順・操作ポイントを説明の上課題をこなし、授業終了時に完成した課題を提出。

回	授業計画・内容	実施日程
1	タイピング練習、Windows基本操作	10月1日
2	Word① 基本的なビジネス文書の作成	10月8日
3	Word② 表入り文書、画像入り文書の作成	10月15日
4	Word③ 図形・画像を使用したチラシの作成、地図入り文書の作成	10月22.29日
5	Word④ デザイン文書の作成	11月5～19日
6	Word⑤ Word操作反復練習	11月26日
7	Excel① 基本的な表の作成、四則計算	12月3日
8	Excel② 基本の関数、棒グラフ・折れ線グラフ	12月10日
9	Excel③ 円グラフ、複合グラフ	12月17日
10	Excel④ Excel操作反復練習	12月24日
11	Excel⑤ Excelを使用した請求書の作成	1月7日
12	期末試験前総復習	1月14日
13	期末試験	1月21日
14	期末試験返却、解説	1月28日
15	ファッショショーンショー期間	2月4～25日
16		
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

履修意欲 20%、課題評価 30%、技術試験 50%として評価を行う。

教科書・参考書・資料・文献

『Microsoft Office Specialist Word 365&2019 対策テキスト & 問題集』FOM出版

『Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト & 問題集』FOM出版

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
神戸大学卒業 IT関連企業にてヘルプデスクやWindows操作講習講師を3年以上、 本校にてOffice関連授業を3年	○

授業科目名	英会話	科目分類	演習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		35時間			
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	後期			
教員	STEPHEN SPENCER	授業担当・外部講師	STEPHEN SPENCER				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
English for fashion: colours, patterns, materials, daily conversation, modelling, grammar patterns, shopping, travelling etc.							
授業方法・形態							
A variety of activities, mainly the Fashionable English textbook: conversation practice, designing, drawing, making, creating in English, grammar and vocabulary, plus much more.							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	Introduction. Self-introduction, human bingo			10月6日			
2	Greetings, conversations, hobbies			10月20日			
3	海外研修			10月27日			
4	Verbs A. Apparel vocabulary、Verbs B. Colours, colour palette			11月10日			
5	Verbs C. Patterns.			11月17日			
6	Verbs D. Washing instructions			12月1日			
7	Materials, daily conversation, shopping			12月8日			
8	Co-ordination, modelling, designing			12月15日			
9	Trends, trend vocabulary, historic & current trends			12月22日			
10	Styles, fashion show English, vocabulary			1月19日			
11	Vocabulary, conversation and test.、Review, test check, quiz			1月26日			
12	FS期間			2月2日,9日,16日			
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
Course work, evaluation, homework and test.							
教科書・参考書・資料・文献							
Fashionable English textbook							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
NEC, NHK文化会館, Sojitsu, Onward, Chugai, Kokuyo, Kanematsu, Mitsubishi etc	○

授業科目名	演技レッスン	科目分類	実習				
必修・選択	必須科目	単位時間数		80時間			
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	通年			
教員	田口萌	授業担当・外部講師	田口萌				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
台本を用いて台詞を言える、想像力を活かした身体表現および感情表現のパフォーマンスを実現する為の実技 1. はっきり明瞭に聞き取れる発声・滑舌の基礎力を身に付ける 2. 身体全体を自由に動かし、表情筋を使って感情豊かに演技できる柔軟性を養う 3. 与えられた演技課題に意欲的に取り組める積極性を養う							
授業方法・形態							
主として、呼吸・発声・滑舌を身につける為の基礎訓練を毎授業で実施し、応用課題には滑舌を鍛えられる台本を用いてセリフの発声・発音を学びます。その他に、豊かな感情表現を養う芝居用台本を用いて、ペアまたはグループワークで実践を積み上げます。外部から俳優を招いてセッションをしたり、現代アクションの講師による身体表現の授業も行います。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	モデルにとっての表現力の必要性の理解（「演じるとは何か」座学・講義）			4月7日、14日			
2	舌根と表情筋を鍛える（基礎訓練A>呼吸・発声・滑舌「外郎壳」）			4月21日、28日			
3	滑舌鍛錬／臆せず台詞を言える（基礎練A・舞台演劇二人芝居台本を演じる>読み・動作①）			5月12日			
4	滑舌鍛錬／臆せず台詞を言える（基礎練A・舞台演劇二人芝居台本を演じる>読み・動作②）			5月19日			
5	滑舌鍛錬／臆せず台詞を言える（基礎練A・舞台演劇二人芝居台本を演じる>読み・動作③）			5月26日			
6	滑舌鍛錬／臆せず台詞を言える（基礎練A・舞台演劇二人芝居台本を演じる>読み・動作・発表④）			6月2日			
7	滑舌鍛錬／自然な表情で台詞が言える（基礎練A・映像ドラマ台本を演じる>読み・動作①）			6月9日			
8	滑舌鍛錬／自然な表情で台詞が言える（基礎練A・映像ドラマ台本を演じる>読み・動作②）			6月16日			
9	滑舌鍛錬／自然な表情で台詞が言える（基礎練A・映像ドラマ台本を演じる>読み・動作・発表③）			6月23日			
10	複数名と演じることができる（舞台演技の集中力を鍛える>三人芝居台本①）			6月30日			
11	複数名と演じることができる（舞台演技の集中力を鍛える>三人芝居台本②）			7月7日			
12	複数名と演じることができます（舞台演技の集中力を鍛える>三人芝居台本③）			7月14日			
13	「外郎壳」を暗唱できる（基礎訓練A>呼吸・発声・滑舌・「外郎壳」見直し・復習）			9月1日			
14	想像力豊かに演じる（基礎練A・舞台集団演技課題「インテグレーション」>想像力を鍛える①）			9月8日			
15	想像力豊かに演じる（基礎練A・舞台集団演技課題「インテグレーション」>想像力を鍛える②）			9月22日			
16	想像力豊かに演じる（基礎練A・舞台集団演技課題「インテグレーション」>想像力を鍛える③）			9月29日			
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
・実技や実践授業後にレポートを提出。理解度を確認し、評価・採点の対象とする（40%） ・試験日に限らず、授業内の実技課題の実践ごとに評価記録を作成し、採点の際に用いる（60%）							
教科書・参考書・資料・文献							
担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員						
活動開始1985年～>モデル（スチール・CM・ショー）・俳優（TV・映画・舞台）・劇作家・演出家 2011年～「劇団 球」主宰（作・演出にてオリジナル上演作多数）	○						

授業科目名	演技レッスン	科目分類	実習	
必修・選択	必須科目	単位時間数		80時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	通年
教員	田口萌	授業担当・外部講師	田口萌	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

台本を用いて台詞を言える、想像力を活かした身体表現および感情表現のパフォーマンスを実現する為の実技

1. はっきり明瞭に聞き取れる発声・滑舌の基礎力を身に付ける
2. 身体全体を自由に動かし、表情筋を使って感情豊かに演技できる柔軟性を養う
3. 与えられた演技課題に意欲的に取り組める積極性を養う

授業方法・形態

主として、呼吸・発声・滑舌を身につける為の基礎訓練を毎授業で実施し、応用課題には滑舌を鍛えられる台本を用いてセリフの発声・発音を学びます。その他に、豊かな感情表現を養う芝居用台本を用いて、ペアまたはグループワークで実践を積み上げます。外部から俳優を招いてセッションをしたり、現代アクションの講師による身体表現の授業も行います。

回	授業計画・内容	実施日程
1	想像力豊かに演じる（基礎練A・舞台集団演技課題「インテグレーション」>想像力を鍛える⑤）	10月6日
2	想像力豊かに演じる（基礎練A・舞台集団演技課題「インテグレーション」>まとめ発表⑥）	10月20日
3	海外研修	10月27日
4	身体を使って表現する（身体表現>現代アクション・殺陣①）	11月10日
5	台詞を覚え動作する・表現力応用（映像・舞台・ニュース原稿・CM用等を演じる①）	11月17日
6	台詞を覚え動作する・表現力応用（映像・舞台・ニュース原稿・CM用等を演じる②）	12月1日
7	台詞を覚え動作する・表現力応用（映像・舞台・ニュース原稿・CM用等を演じる③）	12月8日
8	アクション要素の演技（身体表現2>現代アクション・殺陣②）	12月15日
9	アクション課題まとめ（身体表現の伴う演技について振り返る>レポート課題）	12月22日
10	応用実技>想像力強化（エチュード「即興芝居」を自由に演じる／フリートーク）	1月19日
11	演技実習から学んだことの応用理解（演技要素のある自己PR・最終成果レポート）	1月26日
12	FS期間	2月2日
13	FS期間	2月9日
14	FS期間	2月16日
15		
16		
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

- ・実技や実践授業後にレポートを提出。理解度を確認し、評価・採点の対象とする（40%）
- ・試験日に限らず、授業内の実技課題の実践ごとに評価記録を作成し、採点の際に用いる（60%）

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
活動開始1985年～>モデル（スチール・CM・ショー）・俳優（TV・映画・舞台）・劇作家・演出家 2011年～「劇団 球」主宰（作・演出にてオリジナル上演作多数）	○

授業科目名	ウォーキング	科目分類	実技				
必修・選択	必修科目	単位時間数		145時間			
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	通年			
教員	津曲 久美子	授業担当・外部講師	寺山 由記				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
<ul style="list-style-type: none"> ・プロモデルに必要なウォーキングとポージングを基本から応用まで習得・他の職種（タレント、俳優）についてもセルフプロデュース力を身に付ける ・事務所に所属する為、戦力となるように技術とマナーを身に付ける 							
授業方法・形態							
<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な個人指導 ・通常授業プラスプロポーション作りに必要な体力つくり、運動、知識については講師を招聘する 							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	オリエンテーション、自己紹介 授業内容説明、採寸			4月8,9日			
2	モデルの仕事についての説明、モデルに必要な立ち居振る舞い			4月15,16日			
3	基本姿勢、ウォーキング、ポージング、動画撮影			4月22,23,30日			
4	基本ウォーキングと採寸			5月7,13,14日			
5	1/4ターン、1/2ターン、1回転、ショーの動画を見る			5月20～28日			
6	浴衣、着物のポーズ、見せ方、歩き方、たたみ方			6月3～11日			
7	着物のショー形式の見せ方			6月17～25日			
8	繰り返し1/4ターン、1/2ターン、1回転			7月1～9日			
9	フロアショー、ステージの違いを知る			7月15～23日			
10	ショー形式の見せ方、ポーズの撮り方			9月2～10日			
11	前期アテスト、動画撮影 前期修了			9月16～30日			
12	前期の復習、採寸			10月7,14日			
13	応用編、ウエディング、ロングドレス、フォーマルウェアの見せ方、歩き方			10月21～11月25日			
14	小物の扱い方、見せ方、ジャケット、コートの脱ぎ方、着方、見せ方、CMオーディション対応			12月2～23日			
15	後期テスト、採寸、卒業修了ショーの練習			1月6～27日			
16	卒業制作ファッションショー			2月3～24日			
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、授業態度、実技の習得 ・目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する 							
教科書・参考書・資料・文献							
担当教員の経歴・実務経歴				実務者教員			
講師歴14年 現役モデル				○			

授業科目名	フォトセッション	科目分類	実技	
必修・選択	必修科目	単位時間数		100時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	通年
教員	津曲 久美子	授業担当・外部講師		寺山 由記

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

- ◆プロカメラマンとコラボ授業 ◆表情＆ポージングを巧みに変える。表情力を習得 ◆撮影現場でのマナーも身に付ける
◆他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を身に付ける

授業方法・形態

- ◆プロカメラマンの目線とプロモデルからのアドバイス
◆スタジオやロケ地などの撮影現場での対応力を養うため、多様なセチュエーション作りをして撮影

回	授業計画・内容	実施日程
1	授業の仕組みを知る オリエンテーション	4月9日
2	撮影の基礎を知る 挨拶、礼、基本撮影（全身、上半身、顔、UP）	4月16～30日
3	基本撮影（スタジオ①）	5月7,14日
4	基本撮影（ロケ）	5月21日
5	応用編（テーマ：スポーティ）	5月28～6月4日
6	応用編（テーマ：プレッピースタイル）	6月11,18日
7	応用編（テーマ：ユニクロ、モード）	6月25～7月2日
8	基礎を学ぶ（浴衣）	7月9,16日
9	前期修了ショーリハ	7月23日
10	事務所対応 コンポジット撮影①	9月3～24日
11	後期 基本撮影（スタジオ）②	10月1.8日
12	ドレスの撮られ方（ウェディングドレス）	10月15.22日
13	海外研修	10月29日
14	応用編（テーマ：コートなど）	11月5.12日
15	応用編（テーマ：セットアップ、クール系）	11月19.26日
16	応答編（テーマ：ニット、古着）	12月3.10日
17	応用編（テーマ：近未来、派手、アクセサリー）	12月17.24日
18	事務所対応 コンポジット撮影②	1月7～28日
19	卒業制作ファッションショー期間	2月3～25日
20		

評価方法・評価基準

- ◆出席状況、授業態度、実技の習得力 ◆本人が目指す目標に対する意欲、行動、言動など、前向きな態度を総合評価する

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
講師歴：14年 現役モデル	○

授業科目名	ダンスレッスン	科目分類	実技				
必修・選択	必修科目	単位時間数		102.5時間			
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	通年			
教員	浅井みどり	授業担当・外部講師	浅井みどり				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
ダンスレッスンを通して、人前に立つ姿勢から、自分を表現する楽しみを見出す。また、オーディションなどでダンスを披露できる位の基礎的なダンス力やモデルとして活動する上で必要な体力や体幹、精神の粘り強さを習得していく。							
授業方法・形態							
基本的に実技で、1限目はマットを使いストレッチや体幹トレーニング、筋トレ、アイソレーションやダンスの基本動作を念入りにし、2限目で音楽に合わせ振付を踊ったり、振りを作ったりする。前期にはヒップホップ、後期はジャズダンス、ペアダンスに挑戦する。							
回	授業計画・内容						
1	オリエンテーション、自己紹介と音楽とダンスの関連性と種類、カウントの数え方から実技			4月10日			
2	アイソレーション、ストレッチ、体幹トレーニング、姿勢とヒップホップ基礎			4月17日			
3	アイソレーション、ストレッチ、体幹トレーニング、姿勢とヒップホップ基礎 2			4月24日			
4	アイソレーション、ストレッチ、体幹トレーニング、姿勢とヒップホップ基礎 3			5月1日、8日			
5	アイソレーション、ストレッチ、体幹トレーニング、姿勢とヒップホップ基礎 4			5月15日			
6	アイソレーション、ストレッチ、体幹トレーニング、姿勢とヒップホップ基礎 5			5月22日			
7	ヒップホップ基礎トレーニング、前期ショーの曲決めと振付			5月29日			
8	ヒップホップ基礎トレーニングと応用、前期ショーの振付演習			6月5～7月10日			
9	前期修了ショーリハーサル			7月17日、24日			
10	ジャズダンス基礎トレーニング、後期発表にむけて曲決め			9月4日			
11	ジャズダンス基礎トレーニング、後期発表にむけて振付演習			9月11～10月30日			
12	ジャズダンス応用トレーニング、後期発表にむけてのグループ振付演習			11月6～12月18日			
13	ジャズダンス応用トレーニング、授業内発表会			12月25日			
14	ペアダンス基礎と振付演習			1月8～22日			
15	ペアダンス基礎、応用と授業内発表			1月29日			
16	卒業制作ファッショショニスト期間			2月5～26日			
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
授業への参加率、取り組み方など平常点70%、実技テスト20%、ゲスト講師の評価10%							
教科書・参考書・資料・文献							
特になし							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
プロフェッショナルダンサー、ダンス講師や振付師として20年以上のキャリアをもち、数々のアーティストやミュージカル、商業演劇などの舞台に携わってきた。近年はアルゼンチンタンゴダンサー、講師として国内外で活躍中	○

授業科目名	栄養学	科目分類	講義・実習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		97.5時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	通年
教員	島田 奈美	授業担当・外部講師	風間 幸代	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

【概要】生化学・栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の食生活で実践できるようにする。

モデルとしての体型形成、体型維持および健康管理に、習得した知識を活用できるようにする。

【到達目標】自分自身の状態を客観的に把握し、エビデンスに基づいた正しい方法で体調管理を行えるようにする。

また、調理実習を通して、適切な調理技術を習得する。

授業方法・形態

基本的には講義を中心とし、栄養価計算や食品カードを使用してのワークを取り入れながら実践的に学びを深めていく。

また年4回の調理実習で食への関心を高める。学生の習熟度や進捗状況に応じて柔軟に対応していく。

回	授業計画・内容	実施日程
1	初回オリエンテーション（栄養学の目的・授業の進め方）	4月11日
2	栄養素の種類（5大栄養素とは）	4月18日
3	食品群別栄養的特徴（各食品に含まれる栄養素/一汁三菜とは）	4月25日
4	スポーツイベント（予定）	5月9日
5	年齢・性別・体型別の必要エネルギー及び栄養摂取量（美しい体型とは）	5月16日
6	調理実習①	5月23日
7	消化のメカニズム（消化酵素・咀嚼について）	5月30日
8	消化器官（小腸・大腸の役割とは）	6月6日
9	腸内細菌と腸内環境（腸内環境の整え方・食物繊維とは）	6月13日
10	美しさを保つ抗酸化対策（活性酸素とは・食品の彩り・機能性食品）	6月20日
11	抗糖化対策（砂糖・甘味料について）	6月27日
12	たんぱく質応用（アミノ酸スコア・たんぱく質の適量とは）	7月4日
13	調理実習②	7月11日
14	夏季休暇に向けての体作り計画（適切な水分補給・食事バランス）	7月18日
15	前期修了ショート	7月25日
16	夏季休暇の振り返り・テスト対策	9月5日
17	前期筆記テスト	9月12日
18	血液の栄養学（体の中の鉄の分布・ヘモグロビンの役割）	9月19日
19	遠足	9月26日
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点をおき、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出して評価を行う。

教科書・参考書・資料・文献

「新栄養の教科書 体・健康・食べ方を科学する！」 大久保研之（著者） 深津章子（著者） 新星出版社

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
島田奈美：大妻女子大学食物学科管理栄養士専攻卒業 風間幸代：女子栄養大学栄養学科栄養科専攻卒業 両講師共に、フードサービス業界にてレシピ開発やイベント企画、コラム執筆など手掛け、病院・クリニックでの栄養管理や個別栄養指導、市区町村での栄養講座等講師歴10年以上。	○

授業科目名	栄養学	科目分類	講義・実習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		97.5時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	通年
教員	島田 奈美	授業担当・外部講師	風間 幸代	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

【概要】生化学・栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の食生活で実践できるようにする。

モデルとしての体型形成、体型維持および健康管理に、習得した知識を活用できるようにする。

【到達目標】自分自身の状態を客観的に把握し、エビデンスに基づいた正しい方法で体調管理を行えるようにする。

また、調理実習を通して、適切な調理技術を習得する。

授業方法・形態

基本的には講義を中心とし、栄養価計算や食品カードを使用してのワークを取り入れながら実践的に学びを深めていく。

また年4回の調理実習で食への関心を高める。学生の習熟度や進捗状況に応じて柔軟に対応していく。

回	授業計画・内容	実施日程
1	貧血の現状と対処法（貧血改善の食生活）	10月3日
2	ライフステージ別栄養学（プレコンセプションケア・月経の基礎知識）	10月10日
3	ライフステージ別栄養学（Dohad・体型や栄養状態、働き方から考える妊活とは）	10月17日
4	運動会（予定）	10月24日
5	海外研修	10月31日
6	ライフステージ別栄養学（子どもの食事）	11月7日
7	調理実習③	11月14日
8	ライフステージ別栄養学（成長に必要な栄養素・スポーツ栄養）	11月21日
9	ライフステージ別栄養学（働く人の栄養管理・時間栄養学）	11月28日
10	ライフステージ別栄養学（生活習慣病と食生活）	12月5日
11	ライフステージ別栄養学（エストロゲンと骨の栄養）	12月12日
12	映画鑑賞会（食べるとは？料理とは？食文化とは？）	12月19日
13	サプリメントの活用法	1月9日
14	テーラーメイド栄養学（不調と栄養と食品をひとつの線で考える）	1月16日
15	後期修了筆記テスト	1月23日
16	調理実習④	1月30日
17	FS期間	2月6日
18	FS期間	2月13日
19	FS本番	2月20日.27日
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点をおき、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出して評価を行う。

教科書・参考書・資料・文献

「新栄養の教科書 体・健康・食べ方を科学する！」 大久保研之（著者） 深津章子（著者） 新星出版社

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
島田奈美：大妻女子大学食物学科管理栄養士専攻卒業 風間幸代：女子栄養大学栄養学科栄養科専攻卒業 両講師共に、フードサービス業界にてレシピ開発やイベント企画、コラム執筆など手掛け、病院・クリニックでの栄養管理や個別栄養指導、市区町村での栄養講座等講師歴10年以上。	○

授業科目名	オーディション対策	科目分類	演習	
必修・選択	必須科目	単位時間数		50時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	後期
教員	伏見 幸恵	授業担当・外部講師	近藤 耀司	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

モデル業界について知見を広げる。オーディションに向け以下を学ぶ。

- 1.モデル業界（事務所、仕事内容について）
- 2.エントリーに向け素材の選定方法と作成
- 3.ビジネスマナーマナーを習得し、現場で適切に振る舞えるようになる
- 4.現場での問題解決能力や柔軟な対応力"

授業方法・形態

はじめに講義を行い、その後各自リサーチ、必要書類の作成、エントリー、課題作成モデルとしてSNS意識、見せ方を外部講師からのレクチャー

回	授業計画・内容	実施日程
1	授業説明、他己分析	10月3日
2	モデル、事務所リサーチ	10月10日
3	外部講師/近藤耀司SNS講座	10月17日
4	運動会	10月24日
5	海外研修	10月31日
6	モデル、事務所リサーチ	11月7日,14日
7	外部講師/近藤耀司SNS講座	11月21日
8	ビジネスマナー（電話、メール、コミュニケーション,敬語、挨拶）/エントリー、コンポジット見直し	11月28日～12月12日
9	外部講師/近藤耀司SNS講座	12月19日
10	ビジネスマナー（クッション言葉、席次）/エントリー、コンポジット見直し	1月9日
11	外部講師/近藤耀司SNS講座	1月16日
12	テスト	1月23日
13	まとめ、復習	1月30日
14	ファッションショー準備期間	2月6日13日
15	ファッションショー本番	2月20日
16	ファッションショー振替休日	2月27日
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、「テスト」その平均値を算出し評価を行う。「履修意欲・習熟度40%」「課題評価50%」、外部講師評価10%

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
東京服飾専門学校 卒業 株式会社凛 PRESSを5年以上経験し、PR,スタイリスト、モデル事務所に関する知見を豊富に持つ	○

授業科目名	映像表現	科目分類	演習				
必修・選択	必須科目	単位時間数		102.5時間			
科目設置学科	モデル科	対象学年	年次	通年			
教員	君塚匠	授業担当・外部講師	君塚匠				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
映像制作の基本である企画書や脚本を書かせる。そして、映像制作の座学と実践を通じて演出家と出演者（モデル）の両面を学び、モデルという枠組みを超えて、大きな括りで「表現者たるもの」という自覚を芽生えさせる。							
授業方法・形態							
1)企画書と脚本執筆。2)私が用意した撮影素材の編集実践。1歩進んで学生たちに皆で書いた脚本を撮影させて、それを映像編集ソフトpremierePro編集を使いマスターさせる。2)監督・撮影・役者とチームに分かれ短編映画を制作する。3)脚本と編集を学生たちで団結し作成。これまで写される側だった学生達だが、モデルという立場を客観的に見られるようにする。それが社会に出た時、モデルとして武器になるような科目にする。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	自己紹介。ドラマとドキュメンタリーを知るためドキュメンタリードramaの鑑賞。感想を言わせる。			4月10日			
2	身近なことのドキュメンタリーの企画執筆を教える。完成後、各生徒にテーマを語らせる。			4月17日			
3	編集ソフト・プレミアプロ授業。（基礎編）			4月24日			
4	編集ソフト・プレミアプロ授業。（基礎編）2			5月1日、8日			
5	編集ソフト・プレミアプロ授業。（応用）1			5月15日			
6	編集ソフト・プレミアプロ授業。（応用）2			5月22日			
7	4/17に執筆したドキュメンタリーの企画書を脚本化していく。			5月29日			
8	カメラと三脚そして映像データSDカードとSSDの仕組みを教える。			6月5日			
9	6/5の授業を各自、自力でセッティングしてSSDに保存するまでの工程をやる。			6月12日			
10	巣鴨近郊、学園内で、それぞれが作成した脚本をもとにグループに分かれて撮影実習。			6月19日			
11	巣鴨近郊、学園内で、それぞれが作成した脚本をもとに撮影実習2。			6月26日			
12	その素材を編集。			7月3日			
13	編集2			7月10日			
14	編集作品の発表。			7月17日			
15	前期ショーリハ			7月24日			
16	フィクション作品を作るまでの演技論1 演技の基本			9月4日			
17	演技論2 台詞とモノローグ			9月11日			
18	演技論3 俳優とは			9月18日			
19	短編ドラマと長編ドキュメンタリーを見て、制作に入るまでの予習			9月25日			
20							
評価方法・評価基準							
前期、後期を通じてのやる気に、30%、授業参加30%、能力評価40%							
教科書・参考書・資料・文献							
私のもっている資料をもとに教えるため、学生に配布する特別なテキストはない。							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
日本大学藝術部映画学科卒業。映画監督として5本の映画と脚本を手がける。テレビ番組の演出も多数。ドキュメンタリーやドラマで多数の受賞歴あり。2025年5月に『ADHDの映画監督が見つめる虚構と現実-多様性が理解される世界のあり方-（仮）』という著書を上梓。同年6月に映画『星より静かに』が全国公開。	○

授業科目名	映像表現	科目分類	演習	
必修・選択	必須科目	単位時間数		102.5時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	年次	通年
教員	君塚匠	授業担当・外部講師	君塚匠	
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術				

映像制作の基本である企画書や脚本を書かせる。そして、映像制作の座学と実践を通じて演出家と出演者（モデル）の両面を学び、モデルという枠組みを超えて、大きな括りで「表現者たるもの」という自覚を芽生えさせる。

授業方法・形態

後期は前期で培ったスキルを縦横無尽に駆使し、フィクション動画とポートフォリオを作り上げる。

回	授業計画・内容	実施日程
1	フィクションの脚本を5人3組にわかれ作成	10月2日
2	脚本作成	10月9日
3	本読み	10月16日
4	撮影準備、カメラセッティング、ロケハン、脚本の暗記。	10月23日
5	海外研修	10月30日
6	撮影	11月6、13日
7	撮影素材をプレミアプロで編集	11月20、27日
8	撮影素材をプレミアプロで編集。発表、そして、それぞれの感想と反省点。	12月4日
9	卒業して、モデルとして売り込むための宣材（ポートフォリオの作成。）構成作り。	12月11日
10	ポートフォリオ構成と準備（衣装やメイクなど）	12月18日
11	ポートフォリオ撮影	12月25日
12	ポートフォリオ撮影・編集	1月8日
13	ポートフォリオ編集、完成、発表	1月15、22日
14	私の一推し映画、もしくはYouTubeなどの動画をモニターに映して紹介	1月29日
15	卒業制作ファッションショーアンケート	2月5～26日
16		
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

前期、後期を通じてのやる気に、30%、授業参加30%、能力評価40%

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
日本大学藝術部映画学科卒業。映画監督として5本の映画と脚本を手がける。テレビ番組の演出も多数。ドキュメンタリーやドラマで多数の受賞歴あり。2025年5月に『ADHD の映画監督が見つめる虚構と現実 - 多様性が理解される世界のあり方 - (仮)』という著書を上梓。同年6月に映画『星より静かに』が全国公開。	○

授業科目名	クリエイティブグラフィックス	科目分類	実習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		47.5時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	前期
教員	田中 小百合	授業担当・外部講師	田中 小百合	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得

1.MacPCの扱い方を始め、Illustrator、Photoshopなどのデザイン制作ソフトの基本操作を学ぶ

2.Photoshopでの写真リタッチを中心に、就職活動に必要なブックやコンポジットを完成させる

3.画像形式などの種類や使い分けに関する基礎知識を学び、デジタル分野におけるデータの取り扱い方法を習得する

授業方法・形態

主にMacPCを使用した実習と、座学。前面モニターでは教員がソフトを操作する様子がリアルタイムに投影されており、その操作手順を確認しながら、学生1人1人に割り当てられたPCで実際に作業の練習を行い、ソフトの操作方法や技術を習得していく。時には作品制作を通して自身の技術の習得度を測り、苦手な作業分野の再習得と、得意な分野の更なる向上を目指す。

回	授業計画・内容	実施日程
1	授業内容の説明、PC周辺機器に関する基礎知識（座学）、ソフトの種類の説明	4月11日
2	Photoshopの基本操作習得／操作説明、明るさ・コントラスト、トーンカーブ、色調補正	4月18日
3	外部講師SNS講座	4月25日
4	Photoshopの基本操作習得／選択ツール各種、選択とマスク、切り抜きを使った合成写真の作成	5月9日
5	Photoshopの基本操作習得／修復ツールを使った肌の写真のリタッチ方法、ハイパス	5月16日
6	Photoshopの基本操作習得／歪みツール、文字ツール、AIを活用したリタッチ方法	5月23日
7	外部講師SNS講座	5月30日
8	Illustratorの基本操作習得／ソフトの説明、選択ツール、図形の描画と変形、色の付け方	6月6日
9	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／コンポジット制作①、内容説明、テンプレート作成	6月13日
10	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／コンポジット制作②、制作時間、印刷	6月20日
11	外部講師SNS講座	6月27日
12	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／ブックの作成①、内容説明、素材集め	7月4日
13	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／ブックの作成②、制作時間、印刷	7月11日
14	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／ルックブック制作、内容説明、ガイド作成、制作時間	7月18日
15	前期修了ショー	7月25日
16	Photoshopの基本操作習得／テスト対策日(範囲出題、復習)	9月5日
17	前期期末テスト／Photoshopの基本知識・技術の確認	9月12日
18	外部講師SNS講座	9月19日
19	遠足	9月26日
20		

評価方法・評価基準

1.課題評価（ソフトやPCに関する知識の理解・技術の習得度、オリジナリティの表現、応用力）

2.授業姿勢（授業態度、積極性、出席率などの評価項目）

教科書・参考書・資料・文献

Adobeラーニング

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
阿佐ヶ谷美術専門学校 卒業 同校にてPC工房管理助手を務めたのち、学校法人日本プリントイングアカデミーにて、広報物のインハウスデザイナー兼、デザイン系ソフトの講師として教務を担当。企業向けセミナー講師の経験有り。	○

授業科目名	ヘアメイク	科目分類	実習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		45時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	前期
教員	(有) プリズム・プリズム	授業担当・外部講師	名取瞳、藤井奈穂、白鳥みや子、かすみきりこ	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

ヘアメイクによる印象の変化、みせ方を学ぶ

自分自身でみせたい印象となるヘアスタイリングとメイクアップテクニックを学び、求められるイメージを自分自身で表現できるようにする

授業方法・形態

授業スタートから前半は座学を主とし、ヘアメイクでの印象や見せ方の違いを学ぶ

その後、各テーマに沿って自分でヘアメイクをほどこし、写真撮影をする

	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション：講師紹介、ヘアメイク概論	4月8日
2	見た目の印象の変わり方：メイクアップで変わる印象	4月15日
3	見た目の印象の変わり方：ヘアスタイリングで変わる印象	4月22日
4	見た目の印象の変わり方：ブックを作る	5月13日
5	印象を変えるテクニック：イメージをつくるヘアメイク1	5月20日
6	印象を変えるテクニック：イメージをつくるヘアメイク2	5月27日
7	イメージメイク：カッコイイ印象のヘアメイクをつくり撮影	6月3日
8	イメージメイク：カワイイ印象のヘアメイクをつくり撮影	6月10日
9	イメージメイク：韓国アイドルのヘアメイクをつくり撮影	6月17日
10	イメージメイク：ジェンダーレスのヘアメイクをつくり撮影	6月24日
11	イメージメイク：ワイルド、ハード、ロックな印象のヘアメイクをつくり撮影	7月1日
12	イメージメイク：クラシカルな印象のヘアメイクをつくり撮影	7月8日
13	イメージメイク：セクシー・ゴージャスな印象のヘアメイクをつくり撮影	7月15日
14	イメージメイク：女子は日本の王道アイドル、男子は濡れ感を基調としたヘアメイクをつくり撮影	7月22日
15	イメージメイク：ファッショントレンドのランウェイショーのヘアメイクをつくり撮影	9月2日
16	実技テスト：テーマを決め、テーマに沿ったヘアスタイルをつくる	9月9日
17	イメージメイク：エレガント・スタイリッシュなヘアメイクをつくり撮影	9月16日
18	イメージメイク：ブックに入れたいテーマのヘアメイクをつくり撮影	9月30日
19		
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点を置き講師からのレクチャーやアドバイスに対して「授業参加」20ポイント、「課題理解・習熟度」20ポイント、学期末に実施予定の「実技試験」50ポイント「コンセプトシート」10ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
名取瞳、藤井奈穂、白鳥みや子、かすみきりこ ヘアメイクアップアーティストとして5年以上の実務経験があり、ヘアメイクに関する技術と知識を豊富に持つ	○

授業科目名	SNS活用術	科目分類	演習	
必修・選択	必須科目	単位時間数		50時間
科目設置学科	モデル科	対象学年	1年次	後期
教員	(株)レイワンダッシュ 廣瀬龍也	授業担当・外部講師	斎藤美空	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

- Instagram・Tik Tok等の使い方を習得
- SNSでコンテンツを発信し、分析を行えるようにする
- マーケティングの理解を深める

授業方法・形態

講義50%演習50%

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション	10月7日
2	プランディング	10月14日
3	セルフプランディング	10月21日
4	海外研修	10月28日
5	マーケティング	11月4日
6	Instagramの基礎と応用	11月11日
7	SNS分析	11月18日
8	企画書作成	11月25日
9	撮影	12月2日
10	動画編集	12月9日
11	分析	12月16日
12	企画書作成	12月23日
13	撮影	1月6日.13日
14	動画編集	1月20日
15	分析とSNS活用の総集編	1月27日
16	卒業制作ファッションショ一期間	2月3日～24日
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

授業態度、SNSの実績、各コンテンツのクオリティやテストで採点する。

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
アパレルブランド等のSNSマーケターとして活動中。	○